



ふくしのひろば

fukushi no Hiroba

Vol. 249
spring 2024

4月1日号



特集

令和5年度九州ブロック地域福祉研究会議(鹿児島大会)開催

鹿児島県では17年ぶりに開催!!



CONTENTS

02-05



特集

令和5年度九州ブロック地域福祉研究会議(鹿児島大会)開催

【大会テーマ】住民一人ひとりがつながりを実感できる地域社会の実現をめざして

06-07

本県の「福祉教育」の充実・発展に向けて
ボランティアコーディネーター・担当職員セミナー
ボランティアTシャツ・ポロシャツ販売

08-09

令和5年度 赤い羽根共同募金運動実績
あなたの周りの「親切さん」を教えてください。
かごしまシニア人材育成促進事業を実施しました。

09

地域の宝人(志布志市「安楽結いの会」)

10-11

5~7月 楽しく学べる介護講座
2024 ふくしのしごと関係 イベントご案内
福祉人材・研修センター 研修のご案内

12

HPリニューアルについて、ご厚意に感謝、編集後記

広報誌「ふくしのひろば」は
ホームページでもご覧になれます



社協の経営・運営基盤強化に向けた取組 ～持続可能な社協活動を支える基盤について考える～

第1分科会

〈座長〉佐賀県社協 福田 功 氏 〈助言者〉福岡市社協 事業開発課 業務アドバイザー 藤田 博久 氏
〈発表者〉延岡市社協 福永 治子 氏／曾於市社協 藤田 晃二 氏／那覇市社協 新垣 佳子 氏



第1分科会では、自治体財政の緊縮に伴う委託費や補助金の削減、介護報酬の見直し等に伴う財源不足や、福祉・介護人材不足等、社会福祉協議会を取り巻く環境が厳しくなる中、安定的かつ継続的な事業展開を図るために、積極的な組織・経営基盤強化に向けた取組が必要となるため、持続可能な社協活動を支えるためにはどうしたらよいかを、複数の視点から考えました。

発表者からは、「経営改善」や「運営基盤強化」、「人材育成・定着支援」について、それぞれの社会福祉協議会における取組を発表していただき、グループワークでは、参加者同士で、それぞれの現状や課題について情報交換を行い、助言者の藤田氏からは、安定的な基盤作りに向けて、職員が時代の流れや変化を意識することの重要性等についてアドバイスがありました。

包括的な支援体制の構築に向けた社協の取組 ～多様な主体との連携・協働を深める取組について考える～

第2分科会

〈座長〉長崎県社協 五島 昌幸 氏 〈助言者〉福岡県立大学 人間社会学部 教授 村山 浩一郎 氏
〈発表者〉糸島市社協 加藤 博貴 氏／杵築市社協 江藤 修 氏／鹿屋市社協 高江 行夫 氏



第2分科会では、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行う「重層的支援体制整備事業」が創設される等、地域共生社会の実現を目指す、市町村における包括的支援体制の構築を図る取り組みが進められている中、複合化・複雑化・深刻化している地域生活課題を解決するために必要な、様々な機関や団体等との連携・協働を深める取組について考えました。

社会福祉協議会が重層的支援体制整備事業を通じて、複合化・複雑化した世帯に対し多様な主体とともに関わっている例や、事業を通じて起きた社会福祉協議会の変化、社会福祉法人や地域資源を活用して行っているドライブサロンの取組等について発表がありました。

参加者の皆さんは、実際に包括的な支援を行っている中での課題等について確認ができました。

生活困窮者自立支援に向けた社協の取組 ～生活困窮者の自立につながる実践について考える～

第3分科会

〈座長〉大分県社協 藤田 亘宏 氏 〈助言者〉北九州市立大学 基盤教育センター 准教授 坂本 毅啓 氏
〈発表者〉益城町社協 近藤 千春 氏／始良市社協 丸野 光俊 氏／福岡市社協 石橋 武 氏



第3分科会では、社会福祉協議会がコロナ禍における貸付事業等を通じて、これまでつながりが薄かった世帯への支援等について改めて考えるきっかけになったことから、生活困窮者の真の自立につながる包括的かつ継続的な支援のあり方について考えました。

特例貸付世帯への貸付後の独自のフォローアップの取組例や、ひきこもりの方を含め、生きづらさを抱えている人を対象にした、当事者会等の取組例など、支援者が対象者本人の意思を大切にしながら寄り添う支援の重要性について学びました。

参加者は、困窮者への支援について抱えている悩みや今後のアプローチの手法についてお互いにアドバイスし合う姿が見られました。



巻頭特集

令和5年度九州ブロック地域福祉研究会議(鹿児島大会)開催

【大会テーマ】住民一人ひとりがつながりを実感できる地域社会の実現をめざして

1月17日(水)から18日(木)に鹿児島サンロイヤルホテルにおいて、令和5年度九州ブロック地域福祉研究会議(鹿児島大会)が開催されました。

この研究会議は、2年に1回、九州各県(市)の社会福祉協議会が持ち回りで開催しているもので、鹿児島県での開催は、平成18年度以来17年ぶりとなりました。この研究会議は、行政機関や関係団体等の関係者が、地域福祉を取り巻く現状や課題等について正しく理解し、今後取り組むべき活動や求められる役割等について学び、地域福祉の推進を図ることを目的としているもので、新型コロナウイルス感染症の影響により、5年ぶりに対面での開催となり、九州各県(市)から社会福祉協議会職員をはじめ、地域福祉を推進する関係者約350名の方々に参加されました。

基調報告

地域福祉の推進と社会福祉協議会の役割

全国社会福祉協議会
地域福祉部 副部長
水谷 詩帆 氏



地域福祉の推進と社会福祉協議会の役割というところで、社会福祉と社会福祉協議会のこれまでのあゆみを同じ時系列でご説明いただき、市町村社会福祉協議会の職員数や財政状況など、全国的な傾向や、これまでの成果と課題についてふれていただきました。

また、説明の中で社会福祉協議会の重点的課題(コロナ特例貸付の借受人を含む生活困窮者への支援や複雑化・複合化するニーズに対応するための包括的支援体制の整備、住民主体の地域づくり、総合的な権利擁護支援体制の構築など)や地域福祉の政策動向についてお話しいただき、改めて社会福祉協議会が目指す地域福祉の姿や中期経営計画等に沿って取り組む必要性、行政とのパートナーシップの重要性について学びました。

記念講演

●みんなが元気になるコミュニティづくり ～地域共生社会を目指して～

鹿児島大学 法文学部 法経社会学科 准教授 金子 満 氏

●町内会長就任…そして実践へ… ～みんなが活躍できる地域を目指して～

鹿児島市唐湊山の手町内会 会長
フルハークウィル株式会社 代表取締役 金子 陽飛 氏

記念講演では、金子満氏・陽飛氏親子にそれぞれの立場から、コミュニティづくりの理論と実践のお話をいただきました。満氏からは、みんなが元気になるコミュニティづくりと題して、今後人口減少が進むうえで、なぜ自治組織が必要なのかや、世代間交流の重要性等をお話いただき、その上であらゆる団体や組織がパズルのピースのようにつながり合うことや、「しなければならぬ」から「したい」へ考えを転換することの大切さを学びました。陽飛氏からは、高校生で町内会長になった経験を



もともに、これまでの町内会の雰囲気や慣習について、実際にどのように変革を行い、世代間での結びつき等を行ったのかを事例を挙げて説明され、町内会活動について、新しい考え方を提供していただきました。



17年ぶりに本県での開催となり、直接意見交換をすることができ、参加者にとっても有意義な会議となりました。本大会でできたつながり等を糧に、今後も九州管内社会福祉協議会は関係機関と協働し、地域福祉の推進に努めてまいります。

地域における権利擁護支援に向けた社協の取組

第4分科会

～尊厳のあるその人らしい生活を送るための支援について考える～

〈座長〉熊本県社協 川口 和博 氏 〈助言者〉長崎国際大学 人間社会学部 准教授 前田 佳宏 氏

〈発表者〉佐賀市社協 諸石 康敬 氏 / 肝付町社協 森 武志 氏 / 熊本市社協 佐藤 貴元 氏



第4分科会では、国において二期成年後見制度利用促進基本計画が策定され、権利擁護の取組が今後ますます必要となつていますが、市民後見人の養成や確保、支援体制の整備などが喫緊の課題となつている中、地域の中で、尊厳のあるその人らしい生活を送るための支援について考えました。発表者からは、法人後見事業開始までのいきさつや、広域での成年後見センター設置について、法人後見事業の中での市民後見人の養成や職員との活動内容の区別等お話しいただきました。参加者からは、法人後見事業に取り組みまでの検討材料が増えた等の声がありました。

社協が担う地域における福祉教育の実践

第5分科会

～地域に根ざした福祉教育の実践について考える～

〈座長〉沖縄県社協 伊良皆 和弘 氏 〈助言者〉大分大学 福祉健康科学部 准教授 滝口 真 氏

〈発表者〉佐世保市社協 永安 健太 氏 / 南大隅町社協 大竹野 佑介 氏 / 北九州市社協 芽切 敦美 氏



第5分科会では、地域共生社会の実現を目指すうえで重要となる、地域に根ざした「共に生きる」という意識の醸成を図る福祉教育の推進について考えました。地域における福祉教育の実践は学校や地域関係者のもとより、他分野・多職種な団体とプラットフォームを構築し、連携・協働することが必要となります。発表者からは、高齢者や視覚障がい者の疑似体験等だけでなく、福祉教育において今後大切になってくるのは、「違い」の理解や「個」の尊重であることに気づき、また、福祉の価値を子ども達や地域の方々と一緒に考えることである、といったお話をいただき、参加者は今後の福祉教育のあり方や進め方について協議を行いました。

令和6年度 社会福祉施設総合損害補償 しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険 検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設などに **スケールメリットを活かした割安な保険料で充実補償をご提供します!**

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

賠償事故	保険金額	
	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
お見舞い等	傷害見舞費用	死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

年額保険料(掛金)	定員	
	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
1~50名	35,000~61,460円	
51~100名	68,270~97,000円	
100名以降1名~10名増ごと	1,500円	

基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円



- プラン2 施設利用者の補償
- プラン3 職員等の補償
- プラン4 法人役員等の補償

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(S23-11446より抜粋)

【交流会】

1日目の最後に行われた交流会には、各分科会の座長や助言者を含めた約180名が参加され、九州管内の関係者で交流を図り、親睦を深めました。



施策の動向
地域共生社会をめぐる制度・施策の動向
厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 地域共生社会推進室 室長補佐 高坂 文仁 氏
その後、包括的支援を行っている5市町村の事例を発表され、重層的支援体制整備事業の活用について参加者全員で学ぶ機会となりました。

サービスラーニングや福祉教育に関する最新の取組事例について理解を深めた令和5年度福祉教育推進セミナー

ボランティアセンターでは、学校における福祉教育のより一層の活性化を目指し、毎年「福祉教育推進セミナー」を開催しています。

今年度も去る令和5年11月22日(水)にかごしま県民交流センターで開催し、教職員や幅広い福祉関係者を対象に、学校と地域の多様な関係者による最新の取組事例や学びの機会となるよう、サービスラーニングに関する講演のほか、市町村社会福祉協議会及び学校での取組事例を以下のとおり紹介しました。

なお、今年度も引き続き鹿児島県総合教育センター主催の「豊かな人間性や社会性を培うボランティア・福祉教育講座」と同日に開催し、午前中に同講座を受講した教職員が午後の福祉教育推進セミナーに参加する“連携講座スタイル”で開催しました。



事例発表 1

南大隅町社協地域福祉係
主任 大竹野 佑介 氏

町内の神山小で3年生から6年生まで取り組んでいる福祉学習の紹介をされました。社協職員が指導計画を作成し、学校と地域と協力して実践しました。

事例発表 2

鹿児島大学附属小学校
砂野 優樹 教諭と児童2名

総合的な学習で「自分探求クラブのウェルビーイング」グループがどんな人も普通の暮らしが幸せになる世の中にしたいという願いで調査や体験したことを発表しました。

講演

東海大学 健康学部
准教授 市川 享子 氏

今、福祉教育で話題になっている「サービスラーニング」について詳しく解説され、その実践例を紹介して頂きました。参加者からも大変好評でした。

ボランティアセンターの機能とボランティアコーディネーターの役割を学ぶ 令和5年度ボランティアコーディネーター・担当職員セミナーを開催

ボランティアセンターでは、県内市町村の社会福祉協議会（以下「社協」という。）に配置されているボランティアコーディネーター・ボランティア担当職員の資質向上等を図るセミナーを開催しています。令和5年度は、21人の参加を得て、去る令和5年12月14日(木)から15日(金)までの2日間で開催しました。

1日目は、令和5年5月に全国社会福祉協議会が策定した「市区町村社協ボランティア・市民活動センター強化方策 2023」の概要を伝達し、同強化方策で示された社協ボランティアセンターの5つの役割と25の視点を活用した取り組みと活動の促進に向けて理解を深めました。次に、日本青年会議所九州地区鹿児島ブロック協議会郷土活性化委員会の荒殿裕樹委員長から、防災を楽しみながら学ぶツールとして開発した「防災すごろく」の企画に至った背景やルール解説、最後はグループごとに分かれゲームを体験しながら地域での活用策等に関する意見交換を行いました。



2日目は、令和5年7月に発生した豪雨災害で特に被害の大きかった久留米市災害ボランティアセンターの支援報告を行うとともに、今後の課題や備えについて共有しました。最後は、ダイバーシティ（多様性）マネジメントの普及啓発に精力的に取り組む㈱ハタノシステムの波多野麻美代表取締役専務から、「地域共生社会とダイバーシティマネジメント」と題して講演をいただき、ダイバーシティの考え方など基本的なことからダイバーシティの必要性、そして多様な異なる個性を強みに変えるダイバーシティマネジメントの考え方や手法が、社協がめざす地域共生社会づくりに生かせることを学び全日程を終了しました。



2024年もボランティアTシャツ・ポロシャツを販売します！！

基本ロゴが新しくなりました！！



Tシャツ・ポロシャツともに左袖に基本ロゴがプリントされます。
(左記どちらかのロゴをシャツの色に合わせてプリントします)
※ロゴの色は選べません



Tシャツ

カラーラインナップはTシャツ3色、ポロシャツ4色。
サイズも豊富で、SS～5Lの8展開！
「サラッとした優しい肌ざわりで、速乾性・耐久性も抜群、シワになりにくいので洗濯が楽。」と、毎年好評をいただいております。



ポロシャツ

4月中旬頃にホームページに販売案内を掲載いたしますので、申込方法やサイズ詳細等についてはホームページをご確認ください。

お問い合わせ先 ボランティアセンター TEL 099-253-6922 FAX 099-285-6160

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

令和6年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

保険金額・年間保険料（1名あたり）

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
賠償責任	特定感染症		補償開始日から補償 ^(*)		
	地震・噴火・津波による死傷		×	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

*特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667
受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

県共同募金会からのお知らせ

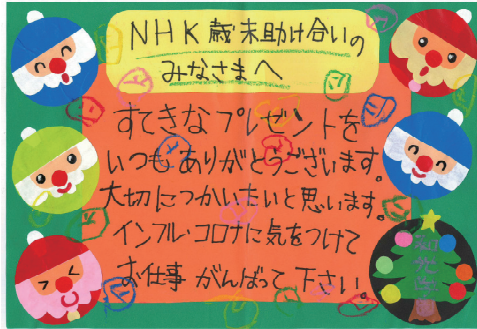


赤い羽根共同募金

「じぶんの町を良くするしくみ。」です！



赤い羽根は共同募金のシンボルです。



「NHK 歳末たすけあい」で DVD プレイヤーを贈呈した、児童福祉施設「和光学園（鹿屋市）」の皆さんから心温まる「ありがとうメッセージ」をいただきました。

皆さまからの義援金 201 万円と災害等準備金から 616 万円を被災県へ送りました。義援金は被災された方々へ配られ、災害等準備金は災害ボランティアセンターの設置・運営のために使われます。義援金は引き続き募集中です。皆さまのご協力をお願いします。

＜ご協力ありがとうございました＞

77 回目となった令和 5 年度の赤い羽根共同募金運動では多くの県民の皆様から温かい善意が寄せられました。皆様のご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。結果については下表のとおりです。

令和 5 年度共同募金 目標額と実績額

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	実績額前年度対比		
				増税 (円)	比率 (%)	
一般募金	213,402,000	206,577,894	96.8	△ 2,978,036	98.6	
歳末たすけあい募金	地域歳末たすけあい	36,598,000	34,235,589	93.5	△ 203,000	99.4
	NHK 歳末たすけあい	4,000,000	2,784,103	69.6	△ 564,673	83.1
合計	254,000,000	243,597,586	95.9	△ 3,745,709	98.5	



こちらからも募金できます！



遺贈・相続寄付のご案内

問い合わせ先

鹿児島県共同募金会
TEL 099-257-3750
(県社会福祉センター2階)

最新情報はこちら！



ホームページ



X (旧ツイッター)

あなたの周りの「親切さん」を教えてください。

～ 「小さな親切」 実行章 推薦のお願い～

実行章の推薦は「小さな親切」運動の発足以来続けている基幹的な活動です。「小さな親切」を行った方（団体・個人）を推薦していただき、実行章の賞状を贈呈して表彰するものです。実行章の推薦は、いつでも、誰でもできます。

この活動は親切な行為のモチベーションを高めるとともに、地域社会の中に思いやりのネットワークを広げていくことが目的です。あなたが見た、受けた、新聞で読んだ、地域で話題となった「親切さん」を推薦してください。

県内では、令和 6 年 1 月末現在で 累計 2,643 団体 312,125 名の方々が受章されています。

実行章の推薦先

〒890-8517

鹿児島市鴨池新町1番7号 県社会福祉センター 3F
「小さな親切」運動鹿児島県本部

TEL099-257-3848 FAX099-251-6779



かごしまシニア人材育成促進事業を実施しました

地域活動に意欲のある高齢者の社会参加の促進を図るため、市町村または市町村社会福祉協議会が行う高齢者の人材育成等を支援することを目的に、「かごしまシニア人材育成促進事業」を、昨年度は始良・伊佐地域、大隅地域、大島地域で実施しました。

本事業では、2日間の本研修の中でアクションプランを作成した後、半日のフォローアップ研修を実施して、意欲がある高齢者の方々の地域での活動参加のきっかけづくりを支援してまいります。なお、開催した地域の市町村における「活動好事例集」と、研修会に参加してアクションプランを作成した地域の「市町村等による取組事例集」を作成・配布しておりますが、県のホームページにも掲載しておりますので、どうぞご覧ください。

① 人材育成基礎研修

市町村行政と市町村社会福祉協議会の職員の皆さんに参加していただき、シニア人材の育成に必要なスキルの一つとして、「ファシリテーション」について学びました。



② 人材育成講座・人材育成実践研修

地域住民・市町村行政と市町村社会福祉協議会の皆さんが一堂に会し、お互いの住む地域の情報交換をしたり、自分たちの住む地域の課題を共有し、課題解決のためのアクションプランを作成しました。



③ フォローアップ研修

みんなで作成したアクションプランの進捗状況を振り返り、うまくいっている事や困っている事を共有し、今後の取り組みについて具体的に計画しました。



④ 事例集の作成

- ・始良・伊佐地域、大隅地域、大島地域の「活動好事例集」
- ・「市町村等による取組事例集」（アクションプラン実践事例集）

鹿児島県のホームページから確認できます。



～令和5年度の研修受講者の声～

- ・地域の取り組みを紙に書き出すことによって、わかり易く進行もスムーズだった。
- ・プロセスを組み立てていく手法を学び、地域の方と一緒に参加できたことがよかった。
- ・知らない地域での取り組みや、運営していく中でのリアルな困り事も知ることができ、とても勉強になった。



長寿社会推進部 TEL : 099-250-7441

↓ 完成した布草履



↑ 布草履を作ると分かれれば製作に必要な編み台も作ります！

↓ 困っていればたくさんの先生の手が伸びてきます



取材日の活動は布草履の制作

地域の宝人

～志布志市～

安楽結いの会



やすら 安楽結いの会 松崎 ひとみ さん

安楽結いの会は、3年前から活動しており、認知症カフェと軽ばん体操の活動を地域で行っています。

自分たちの周囲で高齢化が進むなか、なにか住民同士がつながることができるような地域づくりをしてみたいと思ったことが活動を始めたきっかけで、現在は行政の助成金を活用するなど、関係機関と連携しながら活動を行っております。

認知症カフェでは、主に制作活動を行うのですが、何をつくるのか等は参加者に先生になってもらい決めていきます。

参加者は年配の方がほとんどですが、みなさん得意分野があるので、それぞれが先生になり、お互い教え合いながらイキイキと制作をする姿が見られます。

先生になり、何かを教えるということも参加者たちの生きがい作りにつながっているのかと思います。

今後、いろいろな学べる場を作るようなきっかけ作りを地域で行い、伝承を継いでいけるように、子ども会との関わりも積極的に行いたいと思っています。

5月～7月 楽しく学べる介護講座

番号	講座名	期 日	時 間	内 容	受講料等
1	福祉用具専門相談員養成研修 【資格取得研修】	5月18・19・ 25・26日、 6月1・2・8・9日 (8日間)	9時～17時	○福祉用具の役割 ○高齢者の日常生活の理解 ○介護技術 ○福祉用具の特徴 ○住環境と住宅改修 ○福祉用具の貸与計画等の意義と活用 ○修了評価等 ※8日間で51時間研修です。 ※終了時間は日によって異なります。	46,000円
2	介護職の体リフレッシュ研修	5月23日(木)	13時～16時	○介護職(自分)の身体状態の把握と自己改善を図るストレッチ体操	2,000円
3	介護レクリエーション研修	5月24日(金)	10時～16時	○簡単な運動や創作を楽しむ介護状態別レクリエーション	3,000円
4	介護職スキルアップ研修 (感染症予防対策・褥瘡ケア &救急対応)	6月7日(金)	10時～16時	○感染症予防対策、汚染物の処理 ○褥瘡ケア ○福祉施設での利用者におけるフィジカルアセスメント	4,000円
5	介護職スキルアップ研修 (認知症ケア)	6月13日(木)	10時～16時	○認知症患者別援助の方法 ○事例を通しての理解(グループワーク)	4,000円
6	介護職スキルアップ研修 (排泄ケアⅠ)	6月14日(金)	10時～16時	○排泄やアセスメントについての基礎知識 ○おむつの選 び方・あて方 ○福祉用具を使った排泄の介助方法	4,000円
7	介護職基礎研修 A (オンライン研修)	6月20日(木)	10時～16時	○介護保険制度の理解と介護の心得 ○認知症患者別の理解とケア、コミュニケーションのとり 方	2,500円
8	介護職基礎研修 B	6月21日(金)	10時～16時	○高齢者のための転倒予防体操・心身機能低下予防体操 ○身体状況に応じたおむつの選び方・あて方・交換方法	2,500円
9	やさしい介護教室 A 【県民向け】	6月26日(水)	10時～12時	○認知症って!? 認知症の理解、声かけ・接し方	無料
10	やさしい介護教室 B 【県民向け】	6月26日(水)	14時～16時	○不安解消! 排泄用具の選び方・使い方	無料
11	介護食調理教室	7月7日(日)	10時～15時	○高齢者が食べやすく栄養バランスのとれた調理方法 ○補助食品の紹介	3,000円 (材料費込)
12	介護職スキルアップ研修 (排泄ケアⅡ)	7月11日(木)	10時～16時	○身体状況に応じたおむつの種類と選び方 ○おむつのあて方のポイント	4,000円
13	介護職スキルアップ研修 (口腔ケア)	7月12日(金)	10時～16時	○口腔ケアの基礎知識と方法 ○拒否される方への対応、 コミュニケーションのとり方 ○口腔ケア体操	4,000円
14	介護職スキルアップ研修 (体位変換・ポジショニングケ ア)	7月18日(木)	10時～16時	○褥瘡の基礎知識 ○座位・寝姿勢別体位変換・ポジショ ニング方法 ○車いすのシーティング方法	4,000円
15	介護職基礎研修 C	7月25日(木)	10時～16時	○福祉用具の選び方・使い方、安全確認トレーニング ○体位変換・ポジショニングケアの方法	2,500円
16	介護職基礎研修 D	7月26日(金)	10時～16時	○誤嚥をふせぐ食事の姿勢と介助方法 ○身体や腰に負担をかけない起居・移乗・移動の介助方法	2,500円

※ 研修・講座の会場は、すべて「カワイクス交流センター(かごしま県民交流センター)」です。

※ 研修・講座の受講を希望される方は、鹿児島県社会福祉協議会の研修管理システムによりお申し込みください。

【研修管理システム URL】 <https://www.shakyo-kensyu.jp/kagoshima/>

・研修の申込みにあたっては、事業所または個人での事前登録が必要です

・申請から登録完了までに1週間程度時間がかかりますのでお早めに登録をお願いいたします



※ 申込み方法の詳細については、鹿児島県介護実習・普及センターへお問い合わせください。

※ 認知症介護実践者等研修の開催時期等の詳細につきましては、本会 HP <http://www.kaken-syakyo.jp/> 内の「介護実習・普及センター研修・講座」ページに掲載しておりますのでご確認ください。



鹿児島県介護実習・普及センター(福祉用具展示)(運営:社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会)
〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号 カワイクス交流センター(かごしま県民交流センター)
TEL 099-221-6615・6616 FAX 099-239-0384
E-mail kaigo-kakenshakyo@po5.synapse.ne.jp
URL <http://www.kagoshima-pac.jp>

地域の「幸せ」を支える

2024 ふくしのしごと関係 イベントのご案内！

ふくしのしごとをお探しの方や就職を検討している方



無料・出入自由 就職・転職フェア

(オープニングセミナー及び就職・転職相談会)

霧島市
8/17(土)

鹿児島市
9/28(土)

鹿屋市
10/26(土)

薩摩川内市
11/30(土)



就職・復帰に向けた基礎研修

無料 福祉職場就職支援講座 (福祉の基礎知識及び介護技術の基礎実技の研修 2日間)

2025/1/25、2/1 カワックス交流センター (かごしま県民交流センター)

ふくしのしごとや介護に興味のある方向けの研修 (県知事の修了証が交付されます。)

無料 介護の入門的研修 (介護や認知症・障害の基礎知識及び基礎実技ほかの研修 3日間)

喜界町
7/5～7

鹿児島市
7/27,8/3～4

鹿屋市
8/24,30～31

霧島市
9/7,13～14

薩摩川内市
10/1,8～9

南種子町
11/22～24

南九州市
12/5,12～13

事業者向けのセミナー等

- 福祉人材確保支援セミナー** (広く人材の安定確保に資する講演など)
2024年9月 鹿児島市で開催予定
- チームリーダー養成研修支援事業**
事業所での中堅職員等のスキルアップ研修(2時間程度)の実施を支援します。
- 外国人介護人材研修会** (県公募事業)
技能実習生等の円滑な就労・定着に向けた接遇、ことばや基礎実技の研修
(2024年10月～ 実技研修は県下各地区で開催予定。)

※詳細は、鹿児島県社会福祉協議会ホームページをご覧ください。



お問い合わせ先

福祉人材・研修センター
TEL 099-258-7888



福祉人材・研修センターの研修のご案内

福祉人材・研修センターでは、社会福祉事業従事者や行政職員を対象に、集合・オンライン・オンデマンドなどの形式で様々な研修プログラムを提供しています。詳しい内容やスケジュールは、研修管理システムでご覧いただけます。専門知識の習得や実践力の向上を目指してぜひ研修を受講しませんか？



お問い合わせ先

福祉人材・研修センター TEL: 099-256-6767

新任職員研修



新任職員としての仕事の向き合い方や、挨拶・名刺交換のマナーを学びます。

へき地保育所保育士・児童厚生員研修



障害児保育、食育・食物アレルギー、幼児の救急法、運動あそびなどを学びます。

救急法研修



事故や急病、災害等の際の応急手当を学びます。

日程・内容の確認や受講申込はこちらから



登録お願いします

鹿児島県社会福祉協議会
研修管理システム

New

鹿児島県社会福祉協議会の『ホームページ』をリニューアル！

これまで十数年使用してきた本会のホームページを、県民の皆様が見やすい、分かりやすい、知りたいことを調べやすいをモットーに、今年度よりリニューアルいたしました。

目的別で調べる



参加したい

・就職協会
・セミナー
・ボランティア活動



学びたい

・法定資格研修
・ケアマネ試験、研修
・各種研修会



相談したい

・生活福祉委員会の個人
・福祉サービス利用支援事業の利用
・福祉サービスに関する相談、支援



知りたい

・社会福祉協議会とは
・協会の申請
・介護

部所ごとに調べる



総務部

事業方針や組織、各部署の事業をご紹介します。

詳しくはこちら



地域福祉部

福祉団体への支援や福祉活動の普及・推進等を行っています。

詳しくはこちら



生活支援部

自立支援として、さまざまな資金貸付の運用を行っています。

詳しくはこちら



長寿社会推進部

高齢者の地域・健康・生きがいづくりへの参加を支援しています。

詳しくはこちら



福祉人材・研修センター

福祉の人材育成に関するさまざまな研修をご案内しています。

詳しくはこちら



ボランティアセンター

地域福祉活動やボランティア活動の参加を支援しています。

詳しくはこちら



介護実習・普及センター

事業方針や組織、各部署の事業をご紹介します。

詳しくはこちら



運営適正化委員会

福祉サービスが適正に運営されるよう定例の報告などを行っています。

詳しくはこちら

本会で実施している事業や、研修、相談などにつきましては、随時更新してまいりますので、気になる方は是非新しくなったホームページを見に来てください！！



←新しくなったHPはこちらから

問い合わせ先 総務部

TEL:099-257-3855

編集後記

令和6年は、地震や航空機の事故など、年始より悲しいニュースが続きましたが、被災地の方が復興に向けて前を向いている姿を、新聞やニュースで目にします。

本会としても、全国各都道府県・市町村社協と、より協力し合うことが必要であると感じました。

令和6年1月31日に、九州圏内の県・指定都市社協で構成される九州社会福祉協議会連合会の理事会を大分県で開催しました。

各県社協の会長や事務局長、種別協議会会長に出席いただき、情報交換会では、それぞれが抱える問題等について意見を交わすなど、有意義な時間を過ごすことができました。(総務部 西原 健翔)



↑理事会・情報交換会の様子

ご厚意に感謝

次の方々から、寄附金等のご厚意が本会に寄せられました。ありがとうございました。

○一般社団法人

生命保険協会鹿児島県協会 様

令和6年1月16日
鹿児島県協会 会長 大和田 博司 様(左側)
和泊町社協 会長 宗 武彦 様(中央)



○あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

MS&ADゆにぞんスマイルクラブ 様

令和6年2月5日
鹿児島支店 支店長
大熊 健志 様(左側)



○株式会社新日本エネックス 様

令和6年2月15日
鹿児島営業所 所長代理
稲川 祐輔 様(左側)



お問い合わせ

鹿児島県社会福祉協議会 総務部

☎ 099-257-3855 FAX 099-251-6779

🌐 / http://www.kaken-shakyo.jp ✉ / soumu@kaken-shakyo.jp



🍌 この広報誌は、共同募金の助成を受けて発行されています。